



中村みえ後援会通信 2号



ひまわり新聞

2018年4月発行 中村みえ後援会事務所 〒283-0066 東金市南上宿 16-13 TEL0475-55-5737 発行者/神谷美咲

東千葉メディカルセンターにて産後ケア
事業が始まります

6月・9月議会で質問させていただきました念願の産後ケア事業が予算化され実施に向かっていきます。

「子育てのまち東金」へ、そして私達女性が最大限の力を発揮できるよう、引き続きがんばってまいります。

*4月1日の広報に掲載されました。

平成30年3月議会の関連質問にて

中村 東金市における最近の出生数の動向は、人口動態統計では平成28年の出生数は362人、平成29年は361人でほぼ横ばいの傾向をしめしております。子育てに対して不安を持つお母さん達に個別の対応をしていただいてるという事ですが、安心して妊娠出産できる体制づくりのひとつとして医療機関と連携した産後ケア事業について現在ご検討されていると思いますが進捗状況はいかがでしょうか？

市民福祉部長 医療機関に宿泊して育児の指導を受ける宿泊型産後ケア事業につきまして、東千葉メディカルセンターとの協議を進めており、現在、平成30年度からの事業開始に向けて事業内容や利用料等が固まって来たことから、新年度当初予算に計上させていただきますところでございます。

私の思い♥ 今の時代に必要とされる産後ケアは、孤独な子育てから女性を救い、子育てを楽しみ、自分自身に自信を持つて輝いてもらえるように取り組んでいかなければなりません。子育て経験を持つシニア世代を含む多世代の関わりも重要だと考えます。そして子育てを社会で見守る東金の「地域の力」を伸ばしていきたいと思っています。

9月定例議会 関連質問

東千葉メディカルセンターの運営状況について

中村 今後いかに地域連携を強化していくかと言ったことが、経営改善に向けて重要な要素であると考えています。地域医療支援病院への承認に向けた状況はどのようになっていますか？

医療担当部長 現在東千葉MCにおいては、地域医療の拠点となる地域医療支援病院への承認を目指しております。そして、その承認要件である紹介率50%・逆紹介率70%を目標値として設定しているところでございます。平成29年度は特に逆紹介率において大きく伸びてきており7月は紹介率52・21%・逆紹介率84・63%という状況でございました。こういった状況を継続して、平成30年度中の承認を予定していたものを前倒しして取り組んでまいりたいと考えているところ

でございます。

中村 医師会との連携についても積極的に進めていただきたいと考えています。現状と今後の取り組みについておうかがいします。

医療担当部長 地域の限られた医療資源の中で、それぞれの役割分担を明確化することで地域全体で効果的に医療を提供し、地域医療の底上げにつなげていきたいというお話が理事長からありました。そういったことを実現させていくためには、医師会や他の医療機関との連携が重要であると認識しております。千葉県医療審議会地域保健医療部会においても、千葉県保健医療計画の改定の議論の中で、この地域においては、救急医療、災害時における医療、小児医療といったものについては、東千葉MCが中核的な役割をはたしていくという方向性が示されております。積極的な連携の具体的な取り組みとしては、山武郡市医師会、茂原市・長生郡医師会を対象としてそれぞれ地域医療連携懇談会、山武郡市医師会との共催による開業医への医療懇談会を実施しました。理事長自らにおいても医師会や地域の病院等に積極的な取り組みを行っている状況でございます。

はい！
議長



子育てのまち
東金！



<http://mie-nakamura.net>

12月定例議会 関連質問

地域ぐるみの子育て支援について

中村 本市の子育てに関する施設として、中央公民館の1階部分に児童館があります。私も数回見学させて頂きましたが、たくさんの子どもたちの笑い声や就学前のお子さんをお連れになった保護者同士が情報交換をしているなど、また年間ですべて、市の重要な子育てに関する施設だと、再認識いたしました。この児童館ですが、厚生員の先生方によって素晴らしい運営がされていると、見学によって感じたところですが、さらに市民や地域の方、あるいは地元の大学生などの力が加わることで、より多様な子育て事業などが展開できるのではないかと考えます。市として、児童館のボランティアについての考え方と、児童館でボランティアをされている方がありますか？

はあっても「方法や手段 きっかけ」がわからなかったりする方もたくさんあると思います。ボランティアであるので、あくまで本人の意思がまず第一だとは思いますが児童館として学生のボランティアに期待していることはありますか？

市民福祉部長 ボランティアの方々のご支援は、児童館の行事や日々の開館のなかでも、大変ありがたいものでございます。学生ボランティアについてでございますが、知識や経験など成人・年配の方が得意な部分、また学生であればこそ得意な部分がございます。子どもたちからすると学生さんは、自分の学校の先生や児童館の厚生員より年齢の近い存在で、「お兄さん・お姉さん」のように感じ、より身近に「懐いたり」「甘えたり」する場面もみられます。また、若者だからこそ柔軟な発想があったり、子どもたちの「流行り」にも詳しいです。そして、そういったボランティアに取組む学生の姿勢を、子どもたちが「お手本」のように感じ「自分も将来ボランティアをしてみよう」という想いなども期待されます。様々な年齢、職種や経験を積まれた方など、多様な方々のご支援により、同じ行事を実施しても、それが硬直化しないことが期待され、またボランティアの方々のお知恵や提案などによって、行事がより良いものになることもございます。今後、

多くの方のご協力を得て、より良い児童館を開館してまいりたいと考えます。

私の思い♥ボランティアを継続的に持続してもらう事が大事だと思います。学生さんについては、東金の活性化、定住人口に繋がるような工夫として、地域におけるボランティア活動が大学における単位や資格の取得などメリットとなることが理想です。そして、地域との関わりを持ち、やりがいを感じてもらい、東金を良い所だと思っていきたい、その思いを後輩に受け継いでいってもらいたいです。

中村 「児童館だより」という月一回発行の広報誌を拝見しました。職員の方々が手作りで作成しており、とても暖かみがあり月の行事が分かりやすく、来館者の方が手にとっています。この「児童館だより」を、市のホームページに掲載してはいかがでしょうか？

市民福祉部長 「児童館だより」のホームページ掲載につきまして、速やかに実施してまいります。♥現在 市のホームページに掲載中です。



10月市民体育祭にて



南上宿内に「交通安全ボール」設置しました



9月 東千葉MCにてAED講習



平成30年2月 最福寺にて節分祭

早いもので新人議員として1年がたちました。皆様には日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。これからも議会の様子を自分の言葉でわかりやすく私の感じた事など織り交ぜながらお伝えしていきたいと思っています。そして、地域の方々とのコミュニケーションを密にし、安心安全な子育てのまち東金を目指して邁進してまいります。



ひまわり新聞と名付けました
ひまわりの花言葉は
「あなたを幸福にする」です